

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

令和8年2月26日
四国運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金(徳島県)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
徳島市地域公共交通活性化協議会	徳島バス株式会社	川内循環線 (①徳島駅～川内支所・富吉団地～徳島駅 ②徳島駅～加賀須野～徳島駅)	<p>〈前回の評価結果概要〉 利用実態調査を実施するなど、詳細な実態の把握に努める。また、Googleマップでの乗換案内サービスやバスロケーションシステム等の周知・広報に努める。</p> <p>〈評価結果の反映状況〉 利用実態調査や乗降センサーのデータの解析を行い、詳細な利用実態の把握に努めた。また、バスロケーションシステムのPRのため周知・広報に努めた。</p>	A	B	<p>引き続き、利用実態調査の実施とともに、設置した乗降センサーのデータの解析を行い、より詳細な実態の把握に努める。Googleマップでの乗換案内サービスやバスロケーションシステム等の周知・広報に努める。また、ICカードの普及を含め、諸機関と協力しながらイベント実施時や沿線施設への公共交通での利用を促し、利用者数増加に繋げるよう努める。なお、適切な目標となるよう設定方法についても検討する。</p>	<p>利用者数は前年より増加したものの、目標達成には至っていないため、路線・ダイヤの見直し等の際は利用実態調査や乗降センサーのデータの解析により得たデータを活用いただくことを期待しています。</p> <p>収支率、公的負担額は目標達成には至っていませんが、人件費や物価高騰等のやむを得ない事情によるものと思われるため、引き続き経費の節減等、収支改善に向けた取組の継続をお願いいたします。</p> <p>また、Googleマップでの乗換案内サービスやバスロケーションシステム等の周知・広報については、引き続き実施していただき、主な利用者(通学、徳島駅と公共施設や観光施設間のアクセス)に効果的な形となっているか、必要に応じて見直しをお願いします。</p>	<p>川内循環線全体 【利用者数】74,978人/年(対前年比:101.4%)(対前々年比:128.3%) 目標達成率:85.6%(目標:87,576人/年) 【収支率】40.4%(対前年比:▲7.6%)(対前々年比:▲8.9%) 目標達成率:89.9%(目標:45.0%) 【公的負担額】42,154,466円(対前年比116.3%) 目標達成率:85.9%(目標:36,200,000円)</p> <p>※系統ごとの達成状況 〈川内循環線〉 【利用者数】43,279人/年【1便あたり利用者数】11.9人【収支率】38.9%【公的負担額】24,436,944円 【利用者数】31,699人/年【1便あたり利用者数】14.4人【収支率】42.5%【公的負担額】17,717,522円</p> <p>利用者数について、アフターコロナの人流の増加に加え、阿波おどりをはじめとした沿線の各種イベントの開催などにより、前年度及び前々年度より増加したものの、目標設定が過大のため、目標達成には至らなかった。系統別の川内循環線の利用者数は前年度より増加したものの、加賀須野経由では減少した。また、収支率について、系統ごとの川内循環線では前年度より改善したものの、加賀須野経由では改善に至らなかった。なお、公的負担額について、人件費や物価高騰による運行経費の増加、新紙幣対応のための機器更新などにより増額となったが、日頃より運行事業者とともに経費の節減に努めている。</p>
	徳島バス株式会社	洪野線 (徳島駅～動物園・洪野～文六寺南)	<p>〈前回の評価結果概要〉 利用実態調査を実施するなど、詳細な実態の把握に努める。また、Googleマップでの乗換案内サービスやバスロケーションシステム等の周知・広報に努める。</p> <p>〈評価結果の反映状況〉 利用実態調査や乗降センサーのデータの解析を行い、詳細な利用実態の把握に努めた。また、バスロケーションシステムのPRのため周知・広報に努めた。</p>	A	A	<p>引き続き、利用実態調査の実施とともに、設置した乗降センサーのデータの解析を行い、より詳細な実態の把握に努める。Googleマップでの乗換案内サービスやバスロケーションシステム等の周知・広報に努める。また、ICカードの普及を含め、諸機関と協力しながらイベント実施時や沿線施設への公共交通での利用を促し、利用者数増加に繋げるよう努める。</p>	<p>利用者数について、沿線の各種イベントの開催等により年々増加傾向であり、目標を大きく上回っていることが確認できました。次回(R9年度事業)の目標設定の際は、利用者実績や利用実態調査等のデータを踏まえ、うえで目標設定することについても検討をお願いいたします。</p> <p>利用者増加に伴い、収支率は目標達成しており、公的負担額は目標達成までわずかに上回ることが確認できました。</p> <p>引き続き経費の節減や、イベント時等の公共交通の利用の促進を実施していただき、主な利用者(市南部の住宅団地と徳島駅間のアクセス、主要観光施設の動物園へのアクセス)に効果的な形となっているか、必要に応じて見直しをお願いします。</p>	<p>【利用者数】65,778人/年(対前年比:128.3%)(対前々年比:202.3%) 目標達成率:204.1%(目標:32,235人/年)【1便あたり利用者数】18.6人 【収支率】44.7%(対前年比:110.9%)(対前々年比:113.4%) 目標達成率:111.9%(目標:40.0%) 【公的負担額】15,979,193円(対前年比102.5%) 目標達成率:97.0%(目標:15,600,000円)</p> <p>利用者数について、アフターコロナの人流の増加に加え、阿波おどりと夜の動物園の開催など沿線の各種イベントの開催などによる利用者増のため、目標を上回った。また利用者増に伴い収支率も改善された。なお、公的負担額について、人件費や物価高騰による運行経費の増加、新紙幣対応のための機器更新などにより増額となったが、日頃より運行事業者とともに経費の節減に努めている。</p>

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
徳島市地域公共交通活性化協議会	有限会社東丸タクシー	<p>応神ふれあいバス ①藤田荘～応神クリニック～マルナカ成長店 ②藤田荘～フジグラン北島～キョーエイ北島店)</p>	<p>〈前回の評価結果概要〉 利便性の向上及び新規利用者の獲得を図るため、広報紙、折り込み広告などによる、周辺住民への周知・広報に引き続き努めるとともに、運行ルートの見直しを行う。</p> <p>〈評価結果の反映状況〉 運行協議会による戸別訪問の実施により、新規利用者の増加及び、既存利用者の継続利用に努めた。また、利便性向上のため、令和5年10月1日から運行ルートの見直しを行った。 【幹線系統との接続利便性について】 ①②とも四国大学前にて徳島バス北島藍住線・鍛冶屋原線・グリーンタウン線・立道線・応神藍住線・鳴門線に接続。高良神社前にて応神藍住線と接続。 ②フジグラン北島にて徳島バス鍛冶屋原線・立道線と接続。 利用者がGoogleマップ等のWeb乗り換え案内システムで乗り換え情報を検索できるよう、GTF5ファイルで路線情報を公開している。</p>	A	A	<p>地域コミュニティ組織と連携し、広報に努めるとともに、免許返納を検討している高齢者世帯等への戸別訪問を継続するなど新規利用者の増加に努める。また、利用者や地域住民からの意見を集約し、路線・ダイヤの見直しを検討する。</p>	<p>利用者数、公的負担額は運行協議会による広報活動や事務費削減の取組により、目標を達成していることが確認できました。</p> <p>定期券利用者が大半であることが、収支率が目標を下回った要因と分析されていますので、次回(R9年度事業)の目標設定の際は、実情を踏まえた目標設定について、ご検討をお願いします。</p> <p>引き続き地域コミュニティ組織と連携した広報(主な利用者の目的は買い物、通院)を行うとともに、利用者や地域住民からの意見を集約し、必要に応じて路線・ダイヤの見直しを検討されることを期待しています。</p>	<p>応神ふれあいバス全体 【利用者数】3,672人/年(対前年比:▲1.3%)(対前々年比:104.3%) 目標達成率:102.3%(目標:3,590人/年) 【収支率】4.8%(対前年比:132.0%)(対前々年比:▲8.9%) 目標達成率:86.8%(目標:5.5%) 【公的負担額】2,633,403円(対前年比▲4.1%) 目標達成率:104.0%(目標:2,740,000円)</p> <p>※系統ごとの達成状況 <マルナカ成長店ルート> 【利用者数】1,066人/年【1便あたり利用者数】5.2人【収支率】5.3%【公的負担額】638,074円 <キョーエイ北島店ルート> 【利用者数】2,606人/年【1便あたり利用者数】6.6人【収支率】4.6%【公的負担額】1,995,329円</p> <p>利用者数については、既存利用者の利用頻度が上がったことにより、目標を上回った。しかし、定期券利用者が大半を占めたため収入は伸びず、収支率は目標を下回った。公的負担額については、事務費の支出削減により目標を上回った。</p>
	大木タクシー有限公司	<p>上八万コミュニティバス ①セブンしらさぎ台店～上八万コミセン～マルナカ徳島店 ②ケアハウスやまも～上八万コミセン～マルナカ徳島店 ③日比宇お地藏さん～上八万コミセン～マルナカ徳島店)</p>	<p>〈前回の評価結果概要〉 利用者の定着及び新規利用者の獲得を図るため、上八万まちづくり協議会や町内会など上八万地区の地域組織を通じ、地域に根差した広報を引き続き行うとともに、利用者を対象にしたイベントの実施を検討する。</p> <p>〈評価結果の反映状況〉 地域のコミュニティ組織と連携し、地域でのイベント等を通じて広報を行い、増加した利用者の定着や、新規利用者の獲得に努めた。 【幹線系統との接続利便性について】 ①②③協立病院前・亀井病院前にて徳島バス佐那河内線と接続。 利用者がGoogleマップ等のWeb乗り換え案内システムで乗り換え情報を検索できるよう、GTF5ファイルで路線情報を公開している。</p>	A	A	<p>地域コミュニティ組織と連携し、イベント等を通じて増加した利用者の定着や、新規利用者の増加に努める。また、利用者や地域住民からの意見を集約し、路線・ダイヤの見直しを検討する。</p>	<p>利用者数、公的負担額は上八万まちづくり協議会や町内会による広報や、事務費削減の取組により、目標を達成していることが確認できました。</p> <p>定期券利用者の増加が収支率が目標を下回った要因とすることで、次回(R9年度事業)の目標設定の際は、実情を踏まえた目標設定について、ご検討をお願いします。</p> <p>引き続き地域コミュニティ組織と連携した広報(主な利用者の目的は買い物、通院)を行うとともに、利用者や地域住民からの意見を集約し、必要に応じて路線・ダイヤの見直しを検討されることを期待しています。</p>	<p>上八万コミュニティバス全体 【利用者数】1,626人/年(対前年比:121.5%)(対前々年比:116.0%) 目標達成率:110.5%(目標:1,472人/年) 【収支率】10.8%(対前年比:143.4%)(対前々年比:▲6.4%) 目標達成率:90.4%(目標:12.0%) 【公的負担額】1,915,235円(対前年比▲8.6%) 目標達成率:108.6%(目標:2,080,000円)</p> <p>※系統ごとの達成状況 <南ルート> 【利用者数】803人/年【1便あたり利用者数】6.2人【収支率】13.9%【公的負担額】674,737円 <北ルート> 【利用者数】309人/年【1便あたり利用者数】2.4人【収支率】7.4%【公的負担額】661,139円 <東ルート> 【利用者数】514人/年【1便あたり利用者数】4.1人【収支率】11.3%【公的負担額】579,359円</p> <p>利用者数については、広報活動により利用者が増加し、日常生活の足として利用される機会が増え、目標を上回った。しかし、定期券利用者の比率が増加したことにより、利用者数の増加に対して収入が伸びず、収支率は目標を下回った。公的負担額については、事務費の支出削減により目標を上回った。</p>